取扱説明書

ミーレ冷凍冷蔵庫

KF 7564 Sed-3

お買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。とくに「安全上のご注意」
は必ずお読みください。

M.-Nr.05 981 470

目次

目次

各部のなまえ

① SUPER（急冷蔵）ボタンと表示ランプ

② 冷蔵室電源 ON/OFF ボタン

③ 冷蔵室温度調節ボタン
（上ボタン : 弱　下ボタン : 強）

④ 冷蔵室温度表示器

⑤ インターロック表示ランプ

⑥ 冷凍室温度表示器

⑦ 冷凍室温度調節ボタン
（上ボタン : 弱　下ボタン : 強）

⑧ 冷凍室電源 ON /OFF ボタン

⑨ SUPER（急冷凍／急速製氷）ボタンと表示ランプ

⑩ アラームボタン

⑪ バター／チーズケース

⑫ 庫内灯

⑬ 卵ケース

⑭ 棚

⑮ ボトルラック

⑯ 水みちと水抜き穴

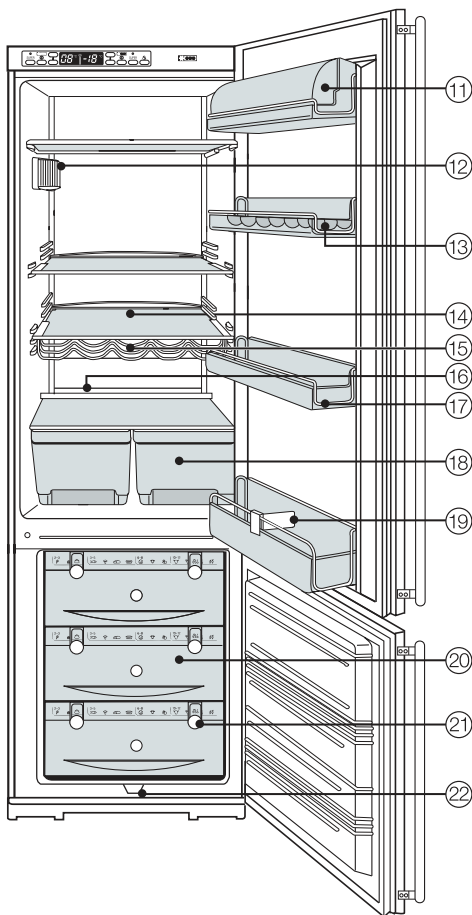
⑰ ドアポケット

⑱ 果物／野菜ケース

⑲ ボトルホルダー

⑳ 引き出し式冷凍室ケース
カレンダー付き

㉑ 冷凍食品マーカー

㉒ 水抜きガイド

※ 機種によって棚位置やポケットの位置が変更になります。

環境保護に寄与

はじめに
このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前に、この説明書をよくお読みいただき、正しい使い方で上手にお使いください。

[輸送用梱包資材には、環境にやさしい素材を使用しております。]

当社が輸送用に使用している梱包資材は、再生素材をできるだけ使用し、ゴミの削減、環境保護に積極的に取り組んでおります。

- ● ダンボールは、再生紙を使用しています。
- ● 梱包資材のリサイクルにご協力ください。
  梱包資材は、様々な再生商品の原料として再利用できます。地域のリサイクル・ゴミ回収に、ご協力ください。

安全上の注意

⚠ 警　告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注　意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するため色々な絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 強制／指示

 感電注意

 機器に損害を与える可能性のある場合

 高温注意

 分解禁止

 電源プラグに関する注意

 水場、湿気の多い場所での使用禁止

本機は所定の安全基準に適合していますが、正しくお使いにならないと人的や物的損害の原因になる恐れがあります。
冷凍冷蔵庫をお使いになる前にはこの取扱説明書をよくお読みになってください。安全上、据え付けやお使いになるとき、お手入れするときの注意事項を記載しています。よくお読みになって冷凍冷蔵庫は安全に、大事にお使いください。

取扱説明書は大切に保管しておいて、次に使われる方にお渡しください。

⚠ 警　告

用途は決められています。

この冷凍冷蔵庫はご家庭専用で、食料品や冷凍食品の貯蔵や新鮮な食品のホームフリージングや製氷にお使いください。
これ以外の用途にはご使用にならないでください。
決められた用途でご使用にならなかったり、誤操作がもとで起きる被害や損害の製造者責任は負いかねます。

感電の恐れあり。

庫内灯の交換やお手入れの歳には必ず電源プラグを抜いてください。

本機には冷媒として環境に優しい天然ガスのイソブタン（R600a）が充填してありますが、イソブタンは可燃性です。イソブタンを使用する事によって、運転音が部分的に高くなる可能性がありますが、製品の性能に影響はありません。本機を運ぶときや据え付けるときには、冷媒回路の一部でも破損しないように注意してください。 また、噴出する冷媒によって目を負傷することがあります。

冷媒回路を破損した場合には：
－火気や点火源を避け、
－電源プラグを抜いて、
－本機のある部屋を数分間換気して、
－サービス窓口に通報してください。

冷媒の量が多くなれば多いほど、冷凍冷蔵庫が据え付けてある部屋は大きくなければいけません。漏れによっては、狭いところでは可燃性のガスと空気の混合物を生成することがあります。
冷媒８グラム当たり少なくとも１立方メートルのスペースがなけれないけません。
冷媒の量は庫内の銘板に記載してあります。

安全上の注意

⚠ 警　告

電源に接続する前に必ず銘板の仕様（電圧、周波数）と電源電圧や電源周波数と見比べてください。電源が一致していないようであれば電気工事業者にお問い合わせください。

冷蔵庫の据付けは通風効果や震動音発生防止のため、冷凍冷蔵庫背面を壁面から50mm 以上離して設置してください。

電気工事はすべて電気工事設備技術基準に準じて行ってください。

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。

必ず以下の操作を行って電源と切り離します。

－電源プラグを抜いて外します。
　コードではなく電源プラグを引っ張って電源から切り離してください。

－屋内配線のブレーカーをOFF にします。

延長コードで電源に接続しないでください。過熱する恐れなど、延長コードでは所定の安全性が確保できません。

都市ガスなどのガス漏れがあった時には、冷蔵庫やコンセントには手を触れず、窓を開けて換気を良くしてください。引火爆発し火災ややけどの原因となります。

ドアにぶら下がったり、引き出しバスケットに乗ったりしないでください。冷蔵庫が倒れたり思わぬけがをする恐れがあります。

エーテル・ベンジン・LP ガス・接着剤など揮発しやすく引火しやすいものは、庫内に入れないでください。
電気接触のスパークで爆発する危険があります。

⚠ 注　意

冷凍食品や容器を、ぬれた手で触れないでください。くっついて凍ることがあり、凍傷の恐れがあります。

角氷やスティックアイス、特に氷果は冷凍室から取り出してすぐに口にしないでください。低温で唇や舌がくっついて凍ることがあり、凍傷の恐れがあります。

解凍した食品は再冷凍しないでください。栄養価が下がりますので解凍したものは出きるだけ早いうちに使ってください。解凍した食品は煮たり焼いたりすれば、また冷凍できます。

爆発しやすいものは貯蔵しないでください。サーモスタットが作動するときに火花が発生し、点火性の混合物を爆発させることがあります。

アルコール濃度の高いものは必ずまっすぐ立てて、キチッと密封して冷蔵室に置いてください。
爆発する恐れがあります。

本体に水をかけたり、水に浸けたりしないでください。ショートや感電の恐れがあります。また、水をこぼしたり、湿気の多い所に設置するのはおやめになってください。絶縁が悪くなり漏電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、引っ張ったり無理に曲げたり、被膜を剥がしたり、かじったり、束ねたりしないでください。電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。

電源プラグの刃や刃の周辺やコンセントとの取付け面にほこりが付着しますと、火災の原因となります。良く拭いてください。

凍ることがある缶やビン入り炭酸飲料は冷凍室で貯蔵しないでくださだ さい。 缶やビンが破裂することがあり、けがしたりする恐れがあります。

早く冷やそうと冷凍室に入れたビン類は1 時間以内に取り出してください。 中身が凍って割れ、けがしたりする恐れがあります。

賞味期限のきれた食品を食べると腐敗により、病気の原因になることがあります。食品の保存期間は、新鮮度や品質、庫内温度などのいろいろな要因によります。食品メーカーの保存についての注意や賞味期限に注意してください。

先のとがったものや角の鋭いものを使って
－霜や氷層を取ったり
－凍りついた製氷皿や食品を取り上げないでください。
冷却器を損傷したり、本体が正常に機能しなくなります。

庫内に電熱器やローソクを置いて除霜したりしないでください。
プラスチックの部材を傷めてしまいます。

半ドアにしますと、庫内の冷えが悪くなったり、冷凍食品が解ける恐れがありますので、ドアは確実に締めてください。

冷蔵庫内の水抜き穴⑮がつまってしまった場合、冷蔵室下部より水が漏れますので定期的にお掃除をしてください。

長期間ご使用にならないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります。

冷蔵庫後部に手を触れないでください。凝縮器や圧縮機に触れるとやけどをおこす可能性があります。

除霜スプレーや解氷剤は使わないでください。 可燃性ガスを生成したり、プラスチックを傷める溶剤や発泡剤を含んでいたり、健康にも有害です。

ドアパッキングにはオイルやグリスをつけないでください。
次第に気密性が悪くなり、冷気が漏れることになります。

本体最底部の通気口を塞がないでください。空気の対流が確保できなくなり、冷却できなくなったり、故障の原因となります。

守らなければいけない気候区分（室温範囲）が指定してあります。
気候区分は庫内の銘板に記載してあります。
室温が下がると静止状態が長くなり、所定の庫内温度を維持できなくなります。

霜取りや清掃には決してスチームクリーナーを使わないでください。
蒸気が本体内部に入り、ショートする原因になることがあります。

冷蔵室の温度は「上部」と「下部」では温度差があります。「下部」の方が温度が低くなります。

溶剤や磨き粉、ワックスの入った洗剤、臭いの強い洗剤を庫内のお手入れに使用しないでください。本体を痛めたり臭いが残ったりする恐れがあります。

製造者の許可が無い電化製品や精密機器を冷凍室や冷蔵室に入れないでください。 故障や誤作動を起こす場合や、破損、爆発する場合もあります。

使用済み器具の廃棄処分

⚠ <u>幼児の閉じ込められる恐れあり</u>
冷凍冷蔵庫を破棄処分する際には、ドアロックやドアパッキンを外してください。

使い古したものは差込みプラグを抜いて、電源コードを切って、使えないようにしてください。

例えば、
–蒸発部の冷媒管を突き破ったり
–配管を折ったり
–表面の被覆をかき落したりして
冷却回路を損傷しないでください。
噴出する冷媒で目を負傷することがあります。

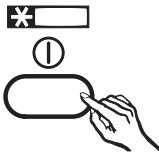
安全上の注意を無視したために生じる被害や損害の製造者責任は負いかねます。

使いはじめ

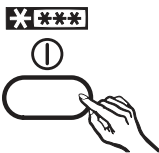
■ 庫内と付属品を清掃します。
はじめはぬるま湯で、最後にふきんでふきとって完全に乾かします。

本体の電源 ON

冷蔵室と冷凍室は必要に応じて片方だけでも電源が入るように別々に電源を ON することができます。

冷蔵室

■ 冷蔵室の ON/OFF ボタンを押します。

冷蔵室温度表示器が点灯します。冷蔵室は冷却を始め、ドアが開いていると庫内灯が点灯します。

冷凍室

■ 冷凍室の ON/OFF ボタンを押します。

冷凍室温度表示器が点灯して、アラーム音が鳴ります。冷凍室は冷却を始めます。

温度を十分に低くするために、食料品を入れる前に数時間予冷してください。

アラーム音の OFF

■ アラームボタンを押します。

アラーム音は消え、冷凍室温度表示器は設定温度になるまで点滅します。

保冷剤

保冷剤は冷凍室上段の冷凍室ケースか、場所をとらないフリージングトレイの上に置きます。およそ24 時間入れておくと、クーラーとして最大限の保冷能力を発揮します。

本体の電源 OFF

各 ON/OFF ボタンを押します。

温度表示器は消灯し、冷却を停止します。
（状況が合っていなければ、インターロックが作動します。）

本体の電源 ON/OFF

インターロック

■ インターロック(連動装置)によって不用意に電源を切ることはありません。

インターロックを ON するには

■ アラームボタンを押した状態で、

■ 同時にSUPER（急冷凍／急速製氷）ボタンを温度表示器にインターロック表示ランプが 点灯するまで 3 約秒間押したままにします。

インターロックを解除して初めて電源を切ることができます。

インターロックを OFF するには

■ インターロックをON したときと同じ動作を行います。

温度表示器のインターロック表示ランプは必ず消灯しなければいけません。
本体の電源はいつでも OFF に戻すことができます。

長期間お留守にするとき

長時間ご使用にならないときは、

■ 電源を切って、

■ 電源プラグを抜き、

■ 冷凍室の霜取りをして、

■ 本体を清掃して、

■ ドアを少し開けて、

■ 臭いがつかないようにしてください。

⚠ **長期間お留守にするときに清掃しないで本体の電源をOFFにすると、ドアを閉めきってカビが生える恐れがあります。**

食品を貯蔵するための正しい温度調節は大切なことです。微生物によって食品は急速に腐敗しますが、正しい貯蔵温度で腐敗を防いだり、腐敗を遅らしたりすることは可能です。 温度は微生物の繁殖スピードに影響します。低い温度ではこの現象は遅くなります。

庫内の温度は、

- ドアの開放頻度が多く、時間が長くな れば なるほど
- 食品を多く詰めればつめるほど
- 入れたての食品の温度が高ければ高い ほど
- 本体の周囲温度が高ければ高いほど上昇します。
  本機には一定の気候区分（室温範囲）が指定してあり、その範囲は必ず守ってください。

冷蔵室の温度

冷蔵室の中央部では 5℃が適温です。

冷凍室の温度

新鮮な食品を冷凍したり、食品を長期保存するために −18℃の温度が必要です。
この温度では微生物は極端に増加しなくなります。−10℃以上になるとすぐに微生物による腐敗が始まり、食品はあまり長期間保存できません。このことから解凍した食品は調理（煮たり、揚げたり）すれば再冷凍してもいいわけです。ほとんどの微生物は高温で死滅します。

温度調節

冷蔵室や冷凍室の温度は温度表示器の横にある左右2 つのボタンで調節することができます。

上側のボタンを押すと ⇒ 弱
下側のボタンを押すと ⇒ 強

調節している間は設定温度が点滅して表示します。

正しい温度

ボタンを押すと、次のように温度表示器の表示が変わります。

最初に押すと、前の設定温度を点滅して表示します。

– 以後、押すたびに1℃きざみに変わり ます。

– 押したままにすると、連続して変わり ます。

最後にボタンを押して約５秒すると、自動的に現在の実際の冷蔵庫／冷凍庫内の温度表示に切り換わります。

温度調節をした場合、庫内がさほど詰まっていない場合には6 時間したら、いっぱい詰まっている場合には24 時間したら温度表示器をそれぞれチェックしてください。

これで実際の設定温度になっています。

高すぎたり、低すぎたりする場合には再調節します。

調節可能な温度範囲

–冷蔵室 ⇒ 2℃～ 11℃

–冷凍室 ⇒ –14℃～ –28℃

最低温度は設置場所や周囲の温度に左右されます。 周囲の温度が高いと、最低温度に達成しない場合もあります。

温度表示器

操作パネルの各温度表示器は通常運転時の冷蔵室中央部の温度と冷凍室内の最も高いところを表示します。

庫内温度を温度表示器の範囲外（冷蔵室を0～19℃、冷凍室を0℃以下）にすると、温度表示器にはダッシュ（–）しか点灯しません。

– 設定温度を変えたり、

– 庫内温度が何度か上昇すると、冷状態損失の表示として温度表示器が点滅します。

ただ、

– 例えば、大きい冷凍食品を出し入れする場合にドアを長めに開いている状態にあるとか、

– 新鮮なものを冷凍する場合の急な冷状態損失については、ご心配いりません。

冷凍室の温度が長時間 –18℃以上である場合には、冷凍食品が解凍していないか調べてください。
また、このような場合にはできるだけ早めに使い切ってください。

温度表示器の明るさ

温度表示器の明るさは、納品時には暗く設定してあります。ドアを開けると変わったり、アラーム状態になると１ 分間くらい最も明るく点灯します。
温度表示器の明るさは次のように変えられます。

＜明るくするには＞

アラームボタンを押した状態で冷凍室温度表示器横の上のボタンを押します。

＜暗くするには＞

アラームボタンを押した状態で冷凍室温度表示器横の下のボタンを押します。

アラーム

本機にはアラームシステムが付けてあり、冷凍室の温度が知らないうちに高くなることはありません。
異常な温度範囲に上昇すると、アラーム音がします。 同時に冷凍室温度表示器が点滅します。異常な温度範囲を検出するタイミングは設定温度によります。

- 冷凍室の電源を入れると、
- 冷凍食品を入れたり、整理したり、取り出すために冷凍室のドアを開けっぱなしにすると、
- 大きめの食品を冷凍すると、
- 停電が長引くと、

その都度、音や点滅信号を発します。

アラームシステムを有効にするには

アラームシステムは自動的に常時使えるようになっています。 特別にスイッチを入れる必要はありません。

アラーム音を止めておくには

冷凍室の設定温度範囲になるとアラーム音が消えて、温度表示器は点灯したままになります。それでも音が気になる場合にはあらかじめ切っておくことができます。

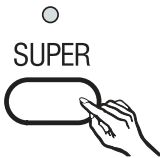
■ アラームボタンを押します。

押すとアラーム音は消えます。アラーム状態が終るまで温度表示器が点滅します。 その後は点灯したままになります。これでアラームシステムは再び作動待機状態になります。

SUPER クーリング機能について

SUPER クーリング機能（急冷蔵）で冷凍室は 2 ℃程度にすばやく冷やします。

SUPER クーリングを有効にするには

特に多めの新鮮な食品や飲み物を早く冷やしたいときには SUPER クーリングを ON しましょう。

■ SUPER（急冷蔵）ボタンを押すと表示ランプが点灯します。

冷蔵室の最大冷却能力で作動しますから庫内の温度は下がります。

SUPER クーリングを無効にするには

SUPER クーリング機能は 6 時間くらいすると自動的に OFF になります。

表示ランプは消えて、通常の冷却運転に戻ります。

節電するために、食品や飲み物が十分に冷えたらご自分で OFF にすることができます。

■ SUPER（急冷蔵）ボタンを押すと表示ランプは消えます。

新鮮な食品を冷凍するとどうなるの?

栄養分やビタミン類、姿、形や風味を逃がさないようにするために、新鮮な食品はできるだけ早く凍らせる必要があります。

ゆっくり冷凍すればするほど、個々の細胞からの体液の隙間移動が多くなり、細胞は収縮してしまいます。
解凍するとき、細胞内では先に流出した体液の一部しか戻りません。
実際にはそれだけ食品のみずみずしさが出てしまうということです。解凍時に食品のまわりに水たまりができることでお分かりいただけます。

食品は急速冷凍すると、細胞内の体液は短い時間で隙間に移動しなければならなくなり、細胞の収縮は非常に少なくなります。解凍するとき、隙間に移動したわずかの体液だけが戻れないだけですから食品のみずみずさはほんのわずかしか無くなりません。ちょっと水たまりになる程度です。

SUPER クーリングとSUPER フリージング

SUPER フリージング機能

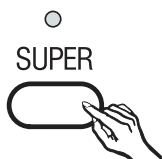
食品を最適に冷凍するためには冷凍する前にSUPERフリージング（急冷凍／急速製氷）機能を有効にする必要があります。

次の場合にはこの機能を有効にする必要はありません。

－すでに冷凍してあるものを入れる とき

－日に 2Kg しか入れないとき

SUPER フリージングを有効にするには

冷凍する食品を入れる4～6時間前にSUPERフリージング機能を有効にする必要があります。最大の冷凍能力を利用する必要があれば、24時間前に有効にする必要があります。

■ SUPER（急冷凍／急速製氷）ボタンを押すと、表示ランプが点灯します。
冷凍室の最大冷却能力で作動しますから冷凍室の温度は下がります。

SUPER フリージングを無効にするには

入れた量によって 30 ～ 60 時間すると、SU-PER フリージング機能は自動的に OFF になります。
表示ランプは消えて、通常の節電運転に戻ります。

上手な食品の入れかた

庫内では空気の自然対流によって異なった温度範囲に対応しています。重い冷気は庫内の底に沈みます。

食品を入れるときにはそれぞれの冷蔵区域をご利用ください。

最も冷たいところは後ろの壁面で、果物／野菜ケースの上側です。
肉、ソーセージ、魚などの多少いたみやすい食品にはこの部分を使います。

最も温度の高いところはドアの一番上で、塗りやすさを保つためにバターを保存したり、香りを逃がさないようにするためにチーズ用に利用します。

分類整理のお勧め

■ 仕切棚には上から下にパン・ケーキ類、調理済みの食べ物、乳製品、肉、魚、ソーセージの順に入れます。

■ 果物／野菜ケースには野菜、サラダ、果物を入れます。

植物ガスの排出によって他の食品の安定性に影響しますから、野菜や果物はいっしにケースに入れて保存しないでください。

■ ドアには上から下にバター、チーズ、小さめのボトル、チューブ入りの物、大きめのボトル、ジュースや牛乳パックを入れます。

冷蔵庫のドアには食用油は置かないでください。
応力によってプラスチックのドア材料に亀裂が入ることがあります。

■ 冷凍室には氷やアイスクリームを保存します。

庫内の構成

棚の入れ替え

棚は冷やすものの高さによって入れ替えできます。

■ 棚は止まるまで手前に引っ張って、前を持ち上げて取り外します。

■ 棚は後の縁を上にして所望の位置に入れます。
食品が後の壁面に触れたり、凍りつかないようにするために後の縁は上向きにしなければいけません。

分割式棚

(型式によって仕様が異なります。)

ガラス棚

背の高いものが置けるように、手前の一部が取り外せる分割式の棚があります。その下の棚には背の高いものが置けるようになります。

格子棚

背の高いものが置けるように、小さいものは脇に立てて置ける棚があります。

小物／ボトルポケットの入れ替え

■ 小物ポケットやボトルポケットは引っ張り上げて、手前に取り外します。

■ 小物ポケットやボトルポケットはお好みの位置につけなおします。つけなおした後は正しく、しっかりと突起部に押し込まれているか注意してください。

ボトルホルダー位置の変更

ボトルホルダーは左右に移動できます。
ドアを開け閉めするときにボトルを保持します。

上手に活用していただくための ポイント

食品を入れるときには必ずそれぞれの冷蔵区域をご利用ください。

– 食品は後の壁面に当てないでください。
  壁面に凍りつくことがあります。

– 爆発性のものや可燃性ガス製品（スプレー缶など）は貯蔵しないでください。
  爆発する恐れがあります。

– アルコール濃度の高いものは立てて、キチッと密封して置いてください。

– 暖かい食べ物や飲み物は冷ましてから入れてください。

– 食品は必ずラップで包むか、十分に覆って貯蔵してください。異臭がしたり、食品が干からびないようにします。
  果物や野菜ははラップに包まないで果物／野菜ケースで貯蔵できます。

– 食品は冷気が対流するように詰めこみすぎないでください。

– 庫内温度が上昇しないようにドアの開閉は少なく、必ず開けたらすぐ閉めてください。
  節電にもなります。

冷蔵に向いていない食品

すべての食品が冷蔵室での貯蔵に向いているとは限りません。
特に以下のものが冷蔵に向いていません。

– バナナ、アボガド、パパイヤ、パッションフルーツ、ナス、パプリカ、トマト、キュウリなどの寒さに敏感な果物や野菜

– 収穫してから熟成する果物

– じゃがいも

– ハードチーズ（パルメザン）

ごちゃ混ぜにした野菜類は熟成を促進する植物ガスを排出します。いくつかの果物や野菜類はこの植物ガスに特に過敏に感応します。ですから、果物類と野菜類を一緒に貯蔵しないでください。

＜例＞ 植物ガスを多く排出する果物
リンゴ、パッションフルーツ、アンズ、西洋ナシ、ネクタリン、桃、プラム、アボガド、パパイヤ、いちじく

＜例＞ 他の果物や野菜類の植物ガスに過敏に感応する果物や野菜
キウイ、ブロッコリー、カリフラワー、芽キャベツ、マンゴー、メロン、リンゴ、アンズ、キュウリ、トマト、バナナ、アボガド、西洋ナシ、ネクタリン、桃

冷凍と冷凍室の使いかた

最大冷凍能力

できるだけすばやく食品の中心部まで冷凍するために、最大の冷凍能力を超えてはいけません。24時間以内の最大冷凍能力は銘板に記載してあります。
（冷凍能力：kg//24h）

加工冷凍食品を保存するとき

加工冷凍食品を保存したい場合には、お店で買い物する前に次のことを確認してください。

– 包装が破れていないか

– 保存期限

– フリザーの温度

– 18℃以上であると食品の保存期限が短くなります。

■ 冷凍食品は最後にお求めになり、新聞紙に包むか、クーラーバック入れて持ち帰ります。

■ 冷凍食品はすぐに冷凍室に入れます。

一度解凍したものは再冷凍しないでください。調理（煮たり、焼いたり）した後であれば、再冷凍することができます。

ホームフリージングするとき

冷凍には新鮮で傷のない食品だけをお使いください。
冷凍する前にお気をつけください。

＜冷凍に向いているもの＞

新鮮な生肉、チキン、猟鳥獣の肉、魚野菜、薬草、熟していない果物、乳製品 、パン・ケーキ類、残飯、卵黄、卵白、その他調理済みのもの

＜冷凍に向いていないもの＞

ぶどうの房、サラダ用葉菜、ダイコン、サワークリーム、マヨネーズ、容器に入れた卵、玉ねぎ、加工していないリンゴやナシ

色、味、風味やビタミンＣを保つために、野菜や果物は冷凍する前に湯通しする必要があります。小分けして２～３分間熱湯に浸し、取り出して冷水でいっきに冷やしてしから水切りしてください。

赤身は脂身の多い肉に比べて冷凍に向いており、より長く貯蔵することができます。

カツレツやステーキなどはそのつどラップを挟み、一緒に凍って一塊にならないようにしてください。

なまものや湯通しした野菜は冷凍する前に味付けしたり、塩味をつけません。
ちょっと下味をつけるだけにしてください。冷凍すると味加減の変わる香料があります。

冷凍してあるものが溶けないようにしたり、節電するためにも暖かい食べ物や飲み物は冷ましてから入れてください。

ラッピング

■ 1 人分や一回分ずつに分けて冷凍します。

<食品包装に適するラッピング材>

– 樹脂製ラップフィルム

– ポリエチレン筒状ラップフィルム

– アルミ箔

– 専用の容器

<食品包装に不適なラッピング材>

– 包み紙（包装紙）

– 硫酸紙（防水・耐脂性半透明紙）

– セロファン

– ごみ袋

– 買い物に使った紙袋

■ 包装内の空気を押し出します。

■ – ゴムリング

– 樹脂製の止め具

– 荷造り用のひも

– 耐寒テープ

で密封します。

ポリエチレン製の袋や筒状ラップフィルムはヒートシーリングできます。

■ 冷凍した中身と日付を記載します。

冷凍室に入れる

冷凍室内はどこでも冷凍できますが、特に上の冷凍ケースで凍らせます。量が多い場合には、特にすばやく、優しく凍らせますから冷凍ケースを外して冷却器のうえに直接置いてください。

それぞれの冷凍ケースと冷却器には25kgまで載せることができます。

■ 冷凍ケースの底に平らに広げて入れるか、冷却器のうえに直接置きます。
これで冷凍する食品は中心まで早く凍らせることになります。

■ くっ付いたりしないように包装の湿気を取ってから入れます。

すでに冷凍している食品が解凍しないように、冷凍しているものに触れてはいけません。

フリージングカレンダー

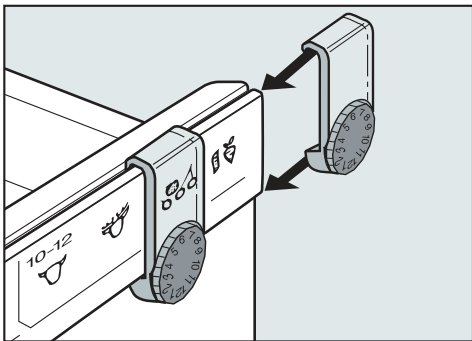
冷凍ケースのフリージングカレンダーでいつ貯蔵したのかそれぞれ食品の種類に応じて通常の保存期間を表示します。

市販の冷凍食品の場合には包装のうえに記載した保存期間で判断します。

冷凍と冷凍室の使いかた

冷凍食品の標記分類

食品の保存期間を思い出すのに役立つのが冷凍食品の標記分類（法）です。

冷凍ケースにはそれぞれダイヤル式のプラカードがついています。これに1～12を合わせて月を表示します。

■ プラカードは冷蔵ケースの縁からガイドレールにスライドして入れます。

プラカードを冷凍食品の種類にマークを合わせ、ダイヤルで貯蔵時期を印します。

冷凍食品の解凍のしかた

冷凍食品は、
－電子レンジ

－オーブンの「熱風加熱」や「解凍」

－室温（自然）

－冷蔵庫内
で解凍することができます。

切り身やブロック肉は適当な熱いフライパンに入れて解凍することも可能です。

果物は、室温で包装のままやボールに入れてふたをして解凍できます。

野菜は、一般的に凍ったまま沸騰したお湯で湯通しするか、高温の油で揚げることができます。冷凍食品は新鮮なものに比べて処理時間は短めになります。

一度解凍したものは再冷凍しないでください。調理（煮たり、焼いたり）した後であれば、再冷凍することができます。

氷のつくりかた

製氷皿に水を3/4まで満たし、冷凍ケースの底に置きます。

凍りついた製氷皿はスプーンの柄など鋭くないもので離します。

角氷はちょっと流水を当てれば簡単に離れます。

アイスクリームのつくりかた

製氷皿はグリッドを外して使います。含まれている脂肪分によっては氷の場合より凝固時間は長くかかります。

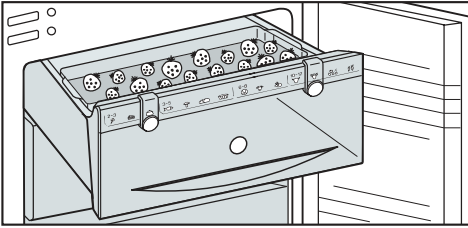
アイスクリームは製氷皿をちょっと水道水につければ簡単に離れます。

飲み物を急いで冷やすには

SUPER（急冷蔵）ボタンを ON します。
それでも冷凍室にボトルを入れる場合には、ボトルは破裂しますから1時間以内に必ず取り出してください。

フリージングトレイの使いかた

（型式によって仕様が異なります。）

フリージングトレイの上ではブドウの粒、薬草、野菜、その他の小さいものを傷めないようにして冷凍することができます。形が変わらず、それぞれ凍りつき合うことはありません。

■ 冷凍するものを詰めないでフリージングトレイの上に置きます。

■ フリージングトレイは上段の冷凍ケースに引っ掛けます。

10 ～ 12 時間冷凍してからフリージングバッグや容器に移し、冷凍ケースに入れてください。

保冷剤の使いかた

（型式によって仕様が異なります。）

保冷剤は、停電のときに冷凍室内の温度が急激に下がらないようにします。

保冷剤は上段の冷凍ケースの食品の上に直接置くか、場所のとらないフリージングトレイに入れておきます。入れてから 24 時間くらいで最大の冷却能力になります。

停電の場合には最大限の保存時間を利用できるようにするために、保冷剤は上段の冷凍ケースのうえに直接置きます。

新鮮な食品を入れたい場合には、すでに入れて冷凍食品との間を隔離するものとして活用してください。これで凍った表面が溶けることはありません。

また、保冷剤はクーラーボックスで食べ物や飲み物をちょっと冷やしたりするにも使えます。

霜取り

冷蔵室

運転している間に冷蔵室の後の壁面には機能的に霜や水滴がつくことがあります。冷蔵室内では自動的に霜取りしますから取り除く必要はありません。

溶けた水は水みちを経て、本体背面の排水管を通って流れます。

水みちや排水管をきれいにしておき、溶けた水が常にすんなり流れ出ることができるかどうか注意してください。

冷凍室

冷凍室は凍った食品を長期間保存するものであるため自動的には霜取りしません。

通常の運転では冷却器にだんだんと霜や氷が着いてきます。冷却出力が低下して消費電力が多くなります。

冷却器が損傷することがありますから、霜や氷の層はかき取ったりアイスピックなどの鋭利な道具で壁面を刺したりしないでください。

冷凍室はそのつど、遅くとも厚さ5mm程度の氷の層ができたら霜取りをしてください。冷凍食品が少なかったり、何もないときを見計らって行います。

霜取りの準備作業

■ 霜取りする4時間くらい前にSUPERフリージング機能を有効にします。これですでに入っている冷凍食品は低温を保ち、多少長く室温で置いておくことができます。

■ 冷凍食品を取り出し、その上に保冷剤を置きます。何層にもなる場合には新聞紙を捲いたり、覆って、冷凍室の運転が再開できるまで冷えた場所に置いておきます。

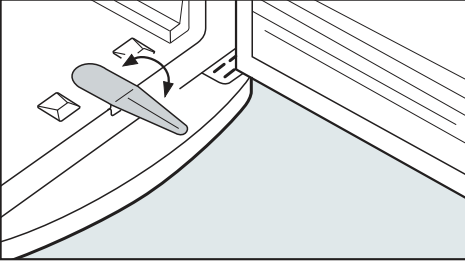
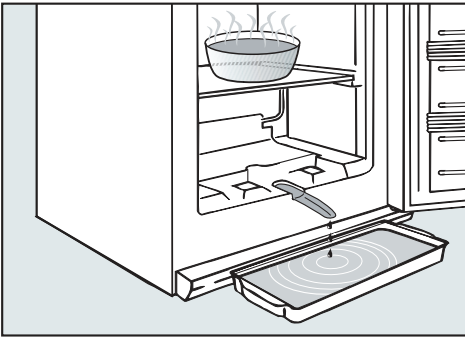
■ 冷凍室から冷凍ケースをすべて取り外します。

霜取りするには

霜取りはすばやく行ってください。
冷凍食品は室温に長く置いておけばおくほど、冷凍食品の保存期間が短くなります。

■ ON ／OFF スイッチで冷凍室の電源を切ります。

温度表示器は消灯します。消灯しない場合にはインターロックが作動します。

■ 冷凍室のドアを開けておきます。

■ 排水ブリッジを広げます。

■ 下段の冷凍ケースを本体の前に置いて、溶けた水を受け止めるように排水ブリッジを開口部に押しこみます。

■ フリージングトレイを本体の前に置いて溶けた水を受け止めます。

フリージングトレイから水が溢れないように注意してください。

温風機を利用する場合には均等に室内に分散して、外側から温風を当ててください。

庫内の樹脂材料が傷みますので、絶対に電気ヒーターやそうそく置いたりして霜取りしないでください。

除霜スプレーや解氷剤は使わないでください。爆発性のガスを発生することがあり、樹脂材料を傷める溶剤や発泡剤を含んでいたり、健康にも有害です。

霜取りしたら

■ 冷凍ケースを空にします。

■ 冷凍室内に溶けて残っている水をスポンジや布巾で吸い取ります。

■ 冷凍室内を清掃して、乾かします。

■ 排水ブリッジを折りたたみます。

■ 冷凍室のドアを閉めて、電源 ON/OFF ボタンを押します。電源が入ると冷凍室温度表示器が点灯します。

■ SUPER フリージング機能を有効にします。これで急速に冷えることになります。表示ランプは ON になります。

■ 冷凍室の温度が十分に下がりしだい冷凍食品を入れて、冷凍ケースを押し込みます。

■ SUPER(急冷凍／急速製氷)ボタンを押して、ＳＵＰＥＲ フリージング機能を無効(OFF) にします。

お手入れのしかた

絶対に砂や研磨剤、ソーダ（炭酸ナトリウム）や酸が入っている洗剤や化学溶剤は使わないでください。また、部分的に光沢がなくなる原因にもなりますから研磨剤の入っていないと言われるものも適していません。

操作パネル、庫内灯、通気口には水がかからないように注意してください。

水抜き穴を使って洗浄水を流さないでください。

蒸気洗浄機は使わないでください。

蒸気が導電部に蒸気が当たったり、ショートすることがあります。

庫内の銘板は剥がさないでください。故障したときには必要になります。

清掃する前に

- ■ ON/OFF ボタンを押して電源を切ります。
- ■ 冷蔵しているものは取り出して、冷たいところに置きます。
- ■ 冷凍室の霜取りをします。
- ■ 取り外せるものは全て取り外します。

外面、庫内、付属品

清掃には少し洗剤が入ったぬるま湯が適しています。食洗機は使わないで、すべて手洗いします。（バター／チーズケースだけは食洗機で洗えます。）

- ■ 冷蔵室は少なくとも月に一回は清掃して、冷凍室は霜取りした後に行います。
- ■ 冷蔵室の水みちや排水管は細い棒などで頻繁に清掃します。これで常にすんなりと排水が行われます。
- ■ それから清掃によっては外面、庫内、付属品を水拭きしてきれいにして、布巾で水分をふき取ります。ドアはしばらく開けたままにしておきます。

通気口（本体最低部）

通気口は刷毛や掃除機で定期的に清掃します。ほこりが溜まると消費電力が多くなります。

ドアパッキン

次第に多孔質状になってしまいますので、ドアパッキンにはオイルやグリスをつけないでください。

- ■ ドアパッキンは定期的に水拭きして、最後に布巾で完全に水分をふき取ります。

背面の金属格子

本体背面の金属格子（熱交換器）は、必ず年一回はちり払いをしてください。
ほこりが溜まると消費電力が多くなります。

金属格子を清掃するときには、電源コードや構成部品をはがしたり、曲げたり、傷つけたりしなように注意してください。

清掃したあとは

■ 冷蔵室の部品をそれぞれ取りつけます。

■ 食品を入れて、ドアを閉めて、冷蔵室と冷凍室の電源をそれぞれ入れます。

■ SUPER フリージング機能を有効にします。これで冷凍室は急速に冷やされ、表示ランプは点灯します。

■ 冷凍室の温度が十分に下がったら直ぐに食品を冷凍ケースに入れて冷凍室に押しこみます。

■ SUPER（急冷凍／急速製氷）ボタンを押してフリージング機能を無効にします。表示ランプは消灯します。

故障かな?と思ったら

専門家以外の人が電気器具の修理をしてはいけません。不適切な修理によって使用者に重大な危険に発生することがあります。

以下の故障については、ご自分で取り除くことができます。

こんなときは、どうするの?

電源を入れてから、特に初めて運転して異常な音が聞こえるのは?
先ず電源を切って、次のことを調べます。

■ 水平に固定されていますか?

■ 運転中に隣の家具が揺れたりしていませんか?

■ 本体背面の各部が干渉しないようにし配慮しましたか?

■ 電源コードクリップは本体背面から離しましたか?これが振動音の原因になることがあります。

■ 取り外せる部品は正しく付いていますか?

■ ボトルや容器の触れる音じゃないですか?

モーター音や冷却回路の流動音は避けられません。

冷蔵室や冷凍室が冷えないときは?

■ それぞれの電源が入っているか調べてください。 対応する表示ランプが点灯するはずです。

■ 電源プラグが抜けていないか調べてください。

■ ヒューズやブレーカーが切れていないか調べてください。切れている場合にはサービス窓口までお問い合わせください。

冷凍室のドアを何回も続けて開けられないのは?

これは故障ではありません。吸引作用によってしばらくすれば力を入れなくても開けられます。

冷蔵室や冷凍室の温度が低すぎるのは?

■ 温度を高めに調節してください。

■ SUPERクーリング／フリージング機能を切り忘れています。その都度、表示ランプは点灯しています。

始動回数が多かったり、ON 時間が長いときは?

■ 通気口がふさがったり、ゴミがついていないか調べてください。

■ 背面の金属格子(熱交換器)にほこりがついていないか調べてください。

■ ドアを頻繁に開けたか、大きな食品を冷凍しました。

■ ドアがキチンと閉まっているか調べてください。

■ 冷却器が厚い霜に覆われていないか調べてください。該当するようであれば、霜取りしてください。

カチカチに凍りついているときは?

凍りついた食品はスプーンの柄などの先の尖っていないもので離します。

冷却器に厚い氷層があるときは?

■ 冷凍室のドアがキチンと閉っているか調べてください。

■ 冷凍室の霜取りして、清掃してください。

厚い氷層は冷却能力を低下し、それによって消費電力が多くなります。

アラームが鳴って、冷凍室温度表示器が点滅するときは?

冷凍室は、以下の場合には設定温度に依存するようになります。

■ 冷凍室のドアを頻繁に開けたか、大きななまものを冷凍した。

■ 通気口を塞いだ。

■ 停電が長引いた。

障害を取り除くと、冷凍室温度表示器は点灯に変わり、アラーム音は消えます。

温度表示器にダッシュ(—)が点灯または点滅するときは?

電源を入れてから6時間くらい経ったら温度表示器をチェックしてください。
庫内の温度が表示可能な範囲にあるときになってその温度を表示します。

温度表示器にF0からF5のどれかが表示されるときは?

この場合は故障ですのでサービス窓口にお問い合わせください。

温度表示器にnAが表示されるときは?

冷凍室の温度が前日や最近の停電によって上がり過ぎています。

■ nAが点灯している間アラームボタンを押してください。

停電中は冷凍室内の最も高い温度が表示されます。

表示される温度によって冷凍食品は溶けとけはじめているのか、溶けたのかチェックします。溶けているようであれば、再冷凍する前に調理(煮たり、焼いたり)しておきます。

1分間くらい冷凍室内の最も高い温度を表示して、再び現在の実際の温度表示になります。

故障かな?と思ったら

SUPER（急冷凍／急速製氷）か SUPER（急冷蔵）の表示ランプが点灯しないのに、本体が動いているときは?

表示ランプがこわれています。サービス窓口にお問い合わせください。

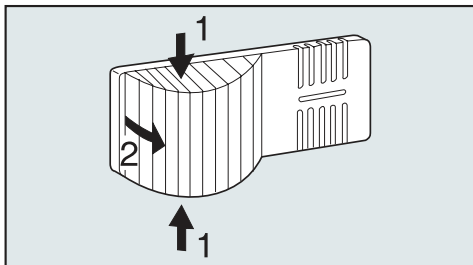
本体の電源が切れないときは?

インターロックが有効になっています。

庫内灯がつかないときは?

■ ドアを開けっぱなしにしましたか?
約 15 分開いていると、自動的に消灯します。

そうでなければ、ランプが切れています。

■ 電源のプラグを抜くか、該当する配線のブレーカーを遮断します。

■ 庫内灯のカバーの両側（上下）を押して外して、後側に外します。

■ ランプはねじって外し、交換します。

ランプの仕様：
125V，MAX.15W

■ 新しいランプをソケットにねじ込みます。ねじ込むときには、パッキンが正しく付いているか気をつけます。

■ 再びカバーを後側に引っ掛けて、両側をパチンと入れて引っ掛けますす。

■ 水みちと水抜き穴を清掃します。

以上のポイントにしたがって不具合を取り除けないときはサービス窓口にお問い合わせください。

不具合を取り除くまでできるだけ開けないで冷気が逃げないようにしてください。

アフターサービス

ご自分で処理できない不具合の場合には、最寄の販売店かサービス窓口までお知らせください。

＜サービス窓口＞

サービス窓口では本体の型式と呼び番号が必要です。型式と呼び番号については、庫内の銘板に記載してあります。

据え付けるときのご注意

本体の上にはトースターや電子レンジなどの放熱器具を置かないでください。消費電力が多くなります。

設置場所

レンジやヒーターの真横や直射日光のあたる窓のところに設置しないでください。
周囲温度が上がれば上がるほど運転時間が長くなり、消費電力が多くなります。
設置する部屋は湿気が少なく、風通しの良いところが適しています。

気候区分

守らなければいけない気候区分（室温範囲）が指定してあります。
気候区分は庫内の銘板に記載してあります。

気候区分室温	温室
SN	+10℃～+32℃
N	+16℃～+32℃
ST	+18℃～+38℃
T	+18℃～+43℃

室温が低いと静止時間が長くなります。
庫内の温度が高くなり、場合によっては解凍することもあります。

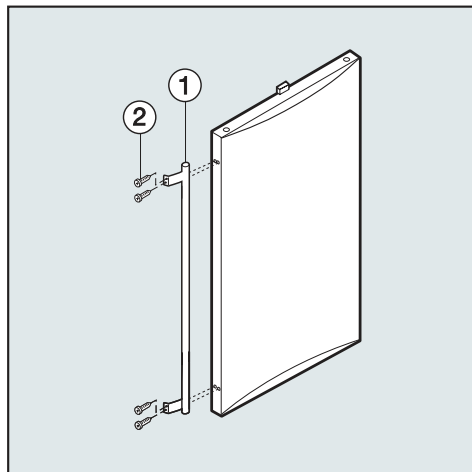
通気

本体背面の空気は暖かくなりますから、確実にスムーズに換気するように通気口を塞がないでください。
同様に通気口は必ず定期的にホコリをとってきれいにしてください。

ドアハンドル

取り付け

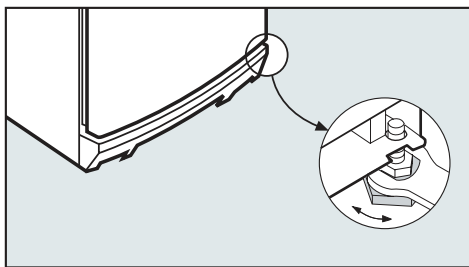
本機は通常右ヒンジの状態で納品されます。
右ヒンジの状態で使用する場合は、ドアハンドルをドアに取り付けます。

■ ドアハンドル①をドアのネジ孔位置に合わせながら、ネジ②を取り付けます。

据え付け

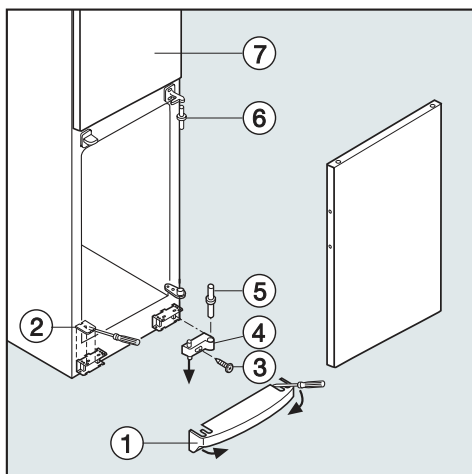
■ 先に本体背面のコードクリップを取り外します。

■ 本体背面の各部が干渉しあっていないか確認し、必要に応じて隣接する部分を慎重に曲げて引き離します。

■ 慎重に設置場所に押し入れます。

水平出し

■ 付属のスパナを使って調節フットで動かないように、水平に調整します。

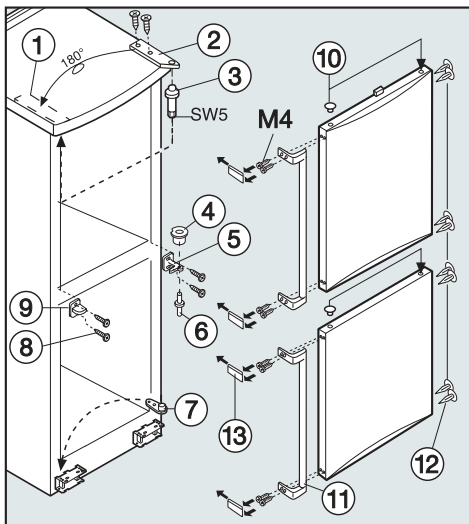
ドアヒンジの左右入れ替え

■ 下側のドアを開けます。

■ ドライバーでベースカバー①を外して端を内側に引っ張ります。

■ ドライバーでカバー②を外して、ドアを閉めます。

■ ネジ③を取り外します。

■ ドアブラケット④をピン⑤と一緒に下に引き抜き、手前にスイングして取り外します。

■ ドアを開けて、手前下方向に傾けて下側のドアを取り外します。
上側のドア⑦が閉っていれば、ピン⑥を下に引っ張って抜きます。

■ カバー①を外します。

■ ベアリングブロック②を外し、反対側に付け替えます。

■ 上側のピン③を付属の六角棒レンチで回して外し、反対側にねじ込みます。

■ カバー①を反対側に取り付けます。

■ カバー⑨とドアブラケット⑤を次のように左右入れ替えます。
ネジ⑧をゆるめカバー⑨とブラケット⑤を外し、それぞれ上下に逆に、左右入れ替えてネジで固定します。

■ ブラケット⑤からベアリングブッシュ④を下方向に抜き取り、上からブラケットに入れなおします。

■ ドライバーでスペーサー⑦を取り外して反対側に当てがいます。

■ ドアキャップ⑩を外して反対側に当てがいます。

■ カバー⑬を手前に外し、横にスライドさせます。

■ ドアノブ⑪とキャップ⑫を置き換えます。

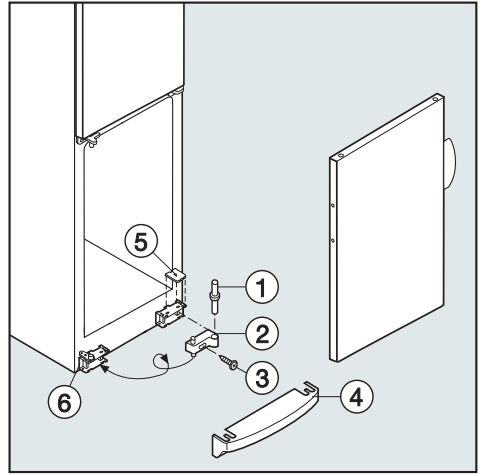
■ カバー⑬をスライドさせながら正確な位置に取り付けます。

■ ピン③に上側のドアを留めてドアを閉めます。

■ 中間のピン⑥を下からブラケット⑤を貫通して上側のドアに押しこみます。

■ 上側のドアのはまり具合をチェックします。必要に応じてブラケット⑤の長穴で調整します。

■ ブラケット⑤に下側のドアを留めてドアを閉めます。

以下の図では状況が分かりやすいように下側のドアは閉めていない状態で図示してあります。

■ ドアブラケット②の向きを替えて（180 °旋回）してピン①を抜き取って、上下逆にして入れなおします。

■ ブロック⑥にこの 2 つの部品を次のように取り付けます。
ピン①をブロック⑥を貫通してドアブラケット②に押し入れ、ドアブラケットを動かし、押し上げてネジ③で仮止めします。

■ 下側のドアを本体ハウジングに合わせてブロック⑥の長穴で調整して、ネジ③をしっかり固定します

■ 脚カバー④の両端を開いて、収まるところまで押し込みます。

■ 下側のドアを開け、カバー⑤を脚カバー面に当て押しこみます。

アフターサービスと保証について

保証書について

保証書は、販売店または指定サービス店が所定事項を記入の上お渡しします。 その際、必ず「据付日、販売店名、商品引き渡し店名」等が記入されていることを確認の上、記載内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

● 保証期間は、据付日から１年間です。

＊ ただし、この期間中でも故障の原因や修理の内容によっては有料となる場合があります。詳しくは保証書を良くお読 みください。

修理について

修理、サービスを依頼される前に、p37「故障?と思う前に」をお読みになり、もう一度ご確認ください。ご確認の上、なお異常がある場合はご自分で修理なさらずに、必ず販売店もしくはサービス店にご連絡ください。

● 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づき、無料あるいは有料で修理いたします。

● 保証期間経過後の修理
修理により製品の機能が維持、回復できる場合には、ご要望により有料で修理いたします。

● 補修用性能部品の最低保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後９年です。

＊ 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスの依頼について

修理および転居・改築の際の製品移動、その他ご不明な点は、販売店もしくは指定サービス店にご依頼またはお問い合わせください。

● お知らせいただきたい内容

1. 異常の状況
2. 製品名（保証書に記載してあります）
3. 据付日（　　　　”　　　　）
4. 型　式（　　　　”　　　　）

＊ 型式・製造番号はドアを開けたところの「ステッカー」に記載されています。

モデル名		KF 7564 Sed-3
外形寸法（mm）		幅 600 x 奥行 631 x 高さ 1982
重　量（kg）		91.1
定格電圧（V）		100
電動機の消費電力（W）		200
定格周波数（Hz）		50/60
設置方法		単独置き専用
有効内容積（リットル）	冷蔵	266
	冷凍	85
冷凍能力		****
冷却方法		冷却自然対流方式（直冷式）
霜取方法	冷蔵	自動
	冷凍	手動
消費電力量（kwh/ 年）		485.5

愛情点検

長年ご使用の冷凍冷蔵庫の点検を！

ご使用の際、
このようなことはありませんか

●スイッチを入れてもときどき運転しない時がある
●運転中に異常な音や振動がする
●本体ケースが変形していたり、異常に熱い
●こげくさい臭いがする
●冷凍冷蔵庫さわるとビリビリ電気を感じる
●その他の異常や故障がある

●使用を中止してください●

このような場合、事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差し込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対になさらないでください。

ミーレ・ジャパン株式会社

本社：〒150-0044東京都渋谷区円山町3-6　E・スペースタワー11F

TEL (03) 5784-0033（家電販売課）　FAX (03) 5784-0035

TEL (03) 5784-0042（カスタマーサービス課）　FAX (03) 5784-0043